

第 4 次長岡市食育推進計画（R6～）の推進方針（案）

本市では平成 26 年 3 月に「長岡市食育基本条例」を制定しており、本計画では食育基本条例を基に、食育に関して市民一人ひとりが食を楽しく学び、日常生活に活かすことによって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、食育の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、生涯健康で文化的な生活の実現を目指します。

1 策定の趣旨

○長岡市食育推進計画は、食育基本法に定める市町村食育推進計画として平成 21 年 3 月に策定し、以降、平成 25 年、平成 30 年に改定。

○本計画は、令和 6 年度から 10 年度までの 5 か年計画として、食生活をめぐる様々な課題に対応するため策定。

2 現状と課題

○家庭での共食は食育の原点であり、心身の健康と豊かな人間性を育むことにつながるが、若い世代の共食の頻度少ない傾向にある。

○朝食を食べる習慣は、就寝・起床などの基本的な生活習慣による影響が大きく、若い世代の朝食の欠食習慣が、家庭環境にも影響し子どもの欠食にも影響を与えている。

○食に関する伝統や食文化は家庭や地域で共有され受け継がれてきたが、社会構造の変化や継承への意識が希薄化している。

○食生活が自然の恩恵の上に成り立っていることを意識し、食料の生産から消費に至るまでの食の循環や環境へ与える影響に配慮し、農業への理解や食に対する感謝の念を深めていく必要がある。

○生活習慣病を予防し、健康寿命を延伸する上で、若い世代から健康な生活習慣を身につける必要があり、健康に配慮した食事や健康づくりに資する情報を入手しやすい食環境の整備が必要である。

3 第 4 次計画の推進方針

○基本理念：食育基本条例第 1 章第 3 条の基本理念の部分を取り入れる

（イメージ案）「食の力で育む ところと身体と地域の元気、食の力で育む 心豊かな人づくり・活力ある地域づくり」等

○基本方針：健全な食生活を実践できる食育の推進（生涯を通じた市民の健康の視点）
食への関心と理解を深める食育の推進（食を産み出す産業・環境・文化の視点）

○基本施策：①家庭での推進、②学校での推進・学校、③保育園等での推進、④地域での推進、
⑤持続可能な食料生産と消費の推進・「ながおか食」の継承

